



▶成人者を代表して決意を宣言する村松優さん(旧黒田原中出身)



1月9日、町文化センターで令和4年成人式を開催しました。出席した新成人は161名で、華やかな振袖や袴、凛々しいスーツ姿に身を包んだ若者たちが、旧友らとの久々の再会に感激する姿や互いの近況を報告しあう姿が会場のあちこちで見られました。

式典では、平山町長が「社会や地域の中で自らを律し、自分自身を信じ、成長し続けてほしい。成人としての責任を持って、夢や希望に向かって進んでくれることを期待します」と式辞を述べました。また、来賓を代表して池澤昇秋町議会議長が新成人に向けて期待と励ましの言葉を送り、新たな門出を祝福しました。

▶代表謝辞を述べる酒井大輔さん(旧東陽中出身)



これを受けて、村松優さんが「自覚と責任のもと社会の発展に貢献し、成人としての義務を果たすことができる社会人となることを誓います」と新成人を代表して宣言しました。酒井大輔さんからは「新型コロナウイルスの影響により、生活やそれを取り巻く環境には大きな変化があるが、成人としての行動に責任と自覚を持ち、地域社会の発展に貢献していきま」という決意とともに、深い愛情のもと育ててくれた両親や、支えてくれた恩師・地域の皆さんに対する感謝が伝えられました。

▶田中純聖さん(那須中出身)が町民憲章の朗読を行いました。



成人式の記念冊子「ハタチの栞」には、新成人がお世話になった人や大切な人へ向けて書いた「ハタチのキモチ」と、新成人のご家族が新成人へ向けて書いた手紙が掲載されています。その一部を原文のまま紹介します。



那須町成人式記念冊子「ハタチの栞」

【ハタチのキモチ】
お父さん、お母さん、ここまで育ててくれて、ありがとうございます。迷惑もたくさんかけているけど、これからは感謝を返していきます。

【20歳になったあなたへ】
あなたが生まれてからの20年。本当にあつという間でした。子育て中、大変なこともありましたが、今振り返ると幸せなことしか浮かんできません。あなたから、たくさんの幸せをもらった20年間でした。これからの人生、困難なこともたくさんあると思います。どんなときでも、誠実に一步一步、歩んでいってください。お父さんとお母さんは、ずっとずっとあなたを見守っています。